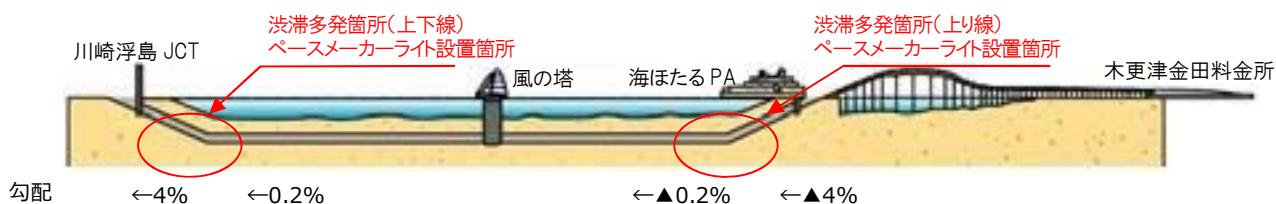


トピックス1

CA 東京湾アクアラインの渋滞について

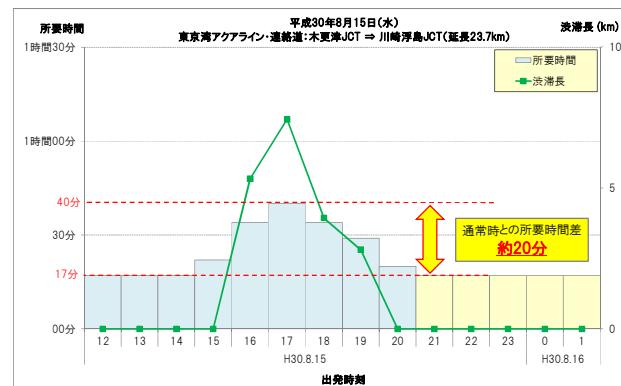
東京湾アクアラインの交通量は、ETC車を対象とした料金割引(平成21年8月～)、大型商業施設の開業(平成24年4月～)などにより年々増加し、週末には上下線で恒常に渋滞が発生しています。多くの場合、アクアトンネル内の勾配変化に気づかず、速度低下してしまうことが渋滞の原因です。

NEXCO東日本では、速度低下しやすい場所の壁面にペースメーカー・ライトを設置しており、速度低下予防に大きな効果を發揮しています。しかし、お盆期間のように特に交通が集中する期間では、上下線で長い渋滞が発生すると予測しているので、渋滞が比較的少ない時間帯でのご利用をお願いします。



■ 平成30年8月15日(水)[上り線]の事例

昨年の渋滞ピーク時には、非渋滞時より所要時間が約20分長くかかったことが分かっています。



■ ペースメーカー・ライトの設置状況



また、昨年の12月から(株)NTTドコモのAI技術を活用した、渋滞予測『AI渋滞予知』を実施しています。当日の人出をもとに予測するため、天候やイベントなどの影響を考慮した高精度な予測となっています。アクアラインで房総半島にお出かけの際は、ぜひご利用ください。

POINT 1
日本の高速道路では渋滞予測で初めて「AI」を活用

POINT 2
的中率は90%以上

POINT 3
NTTドコモの新技術AI渋滞予知より提供

スマートフォンやタブレット、パソコンで利用できるAI渋滞予知サービス

【CA】 東京湾アクアライン上り線のAI渋滞予知(実証実験)

●本日14時発表>
渋滞開始時間 15:30
ピーク時間 17:00
渋滞解消時間 19:30
最大渋滞員数 5km弱
渋滞時間 15分

※本予測は実証実験中の実験機器の影響により実際の渋滞状況と異なる場合があります。

「ドラぶら」にて情報配信(各日14時発信)
(毎日14時までご観察になる場合、下記QRコードよりアクセスください)

○高速道路整備の進展により、同一の出発地・到着地でも、複数の経路選択が可能です。

○高崎IC付近から川口ジャンクション(JCT)付近までの区間を例に、昨年度のお客さまの経路選択における平均所要時間の比較を、ETC2.0の走行履歴を用いて実施しました。

○その結果、関越道などで発生した渋滞により、走行距離の長い北関東道を経由したルートの方が、所要時間が20分程度短くなる時間帯がありました。

○高速道路上の情報板やSA・PAなどの広域情報モニター、NEXCO東日本が提供している『ドラぷら』などから最新の交通状況を確認し、経路選択を行ってください。また、渋滞予測を活用し、ゆとりをもって高速道路をご利用ください。

※ 詳細は、別紙3を参照ください。

■平成30年8月12日(日)16時～18時に高崎ICを通過した事例



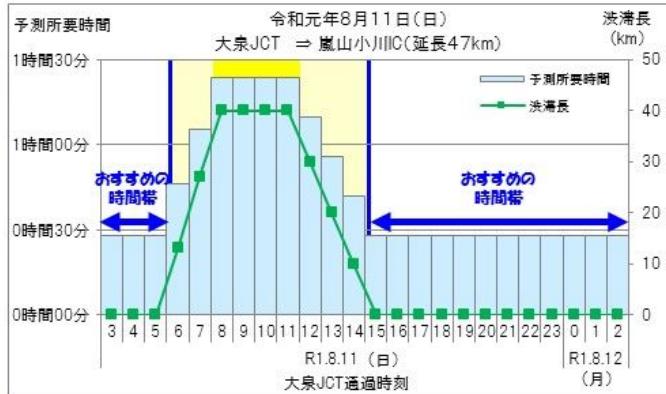
当時の主な渋滞の発生状況(渋滞の先頭とピーク時の距離)
 ①関越道(上り)坂戸BS付近 最大31km(渋滞開始15時頃)
 ②関越道(上り)練馬IC付近 最大6km(渋滞開始15時頃)
 ③東北道(上り)羽生PA付近 最大15km(渋滞開始18時頃)
 ④東北道(上り)久喜IC付近 最大10km(渋滞開始18時頃)

トピックス3

特に長い渋滞の回避例(方向別ワースト)

①8月11日(日) E17関越自動車道(下り線)東松山IC付近を先頭とする渋滞[最大40km]

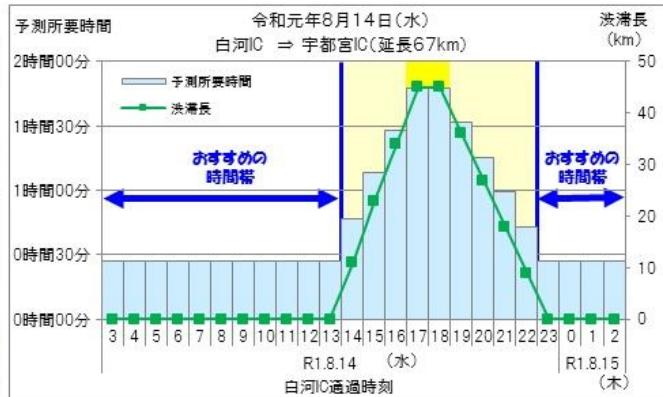
- ◆ 大泉JCT → 嵐山小川IC区間を走行する場合、渋滞のピークは8~11時で、渋滞がない場合に比べ約3倍(約1時間25分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 大泉JCTを5時以前または15時以降に通過する場合の所要時間は約30分と予測しており、これら時間帯の利用をおすすめします。



- ◆ 渋滞原因: サグによる速度低下、IC部の合流
- 東松山IC付近は、合流後のサグ部により無意識のうちに速度が低下しやすくなる渋滞が発生します。また、この付近は追越し車線に極端に車が偏りやすい場所です。車線が均等に使われないことで渋滞発生を早めてしまっていますので、積極的な走行車線のご利用をお願いします。

8月14日(水) E4 東北自動車道(上り線)上河内サービスエリア付近を先頭とする渋滞[最大45km]

- ◆ 白河IC → 宇都宮IC区間を走行する場合、渋滞のピークは17~18時で、渋滞がない場合に比べ約4倍(約1時間50分)の所要時間を見込んでいます。
- ◆ 白河ICを13時以前または23時以降に通過する場合の所要時間は約30分程度と予測しており、これら時間帯の利用をおすすめします。



- ◆ 渋滞原因: サグ部等での速度低下、SA部の合流

上河内SA付近では、上り坂により無意識のうちに速度が低下しやすくなっています。速度回復表示板で速度低下ポイントをお知らせしていますのでご注意ください。また、上河内SAをご利用のお客さまは、安全および渋滞予防のため、余裕をもった車線変更を行い、本線合流後しばらくは左車線のキープをお願いいたします。